※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎「自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇より良い暮らしとはどのようなことなのか考え、関心を持ち、自ら実践してみましょう。

・生活の様々な現象や課題をワークショップや実習等を通して考え、理解を深め、知識を身に付けます。周囲の人々の考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。

・学んだことを自身の生活課題、社会の課題として捉え、充実した生き方をめざしましょう。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を見通す	1. 人生を展望する 2. 目標をもって生きる	ａ：自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ｂ：生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート	ワークシート 学習ノート
	人生をつくる	1. 人生をつくる 2. 家族･家庭を見つめる 3. これからの家庭生活と社会	ａ：生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 ｂ：家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート	ワークシート 学習ノート
	子どもと共に育つ	1. 命を育む 2. 子どもの育つ力を知る 3. 親として共に育つ 4. 子どもと関わる 5. これからの保育環境	ａ：乳幼児期の心身の発達、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境について理解している。 ｂ：子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート	ワークシート 学習ノート

※令和４年度以降入学生用

	超高齢社会を共に生きる	1．超高齢・大衆長寿社会の到来 2．高齢者の心身と特徴 3．これからの超高齢社会	ａ：高齢者を取り巻く社会環境、高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 ｂ：高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート	ワークシート 学習ノート
	共に生き、共に支える	1．私たちの生活と福祉 2. 社会保障の考え方 3. 共に生きる	ａ：生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ｂ：家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート	ワークシート 学習ノート
2学期	衣生活をつくる	1．被服の役割を考える 2．安全で快適な被服の計画 3．被服を管理する 4．衣生活の文化と知恵 5．これからの衣生活	ａ：ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装、被服材料、被服構成、被服衛生について理解している。 ｂ：被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート 観察実験 レポート	ワークシート 学習ノート 観察実験 レポート
	食生活をつくる	1．食生活の課題について考える 2. 食事と栄養・食品 3．食生活の選択と安全 4．生涯の健康を見通した食事計画 5. 調理の基礎 6．食生活の文化と知恵 7. これからの食生活	ａ：ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ｂ：健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート 調理実習 レポート	ワークシート 学習ノート 調理実習 レポート

※令和４年度以降入学生用

	住生活をつくる	1．住生活の変遷と住居の機能 2．安全で快適な住生活の計画 3．住生活の文化と知恵 4．これからの住生活	ａ：ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ｂ：住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート	ワークシート 学習ノート
	ホームプロジェクト	生活に生かそう・自分の意見を文章にまとめよう	ａ：ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解している。 ｂ：自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善 するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	ワークシート	ワークシート パフォーマンス	ワークシート パフォーマンス
３学期	経済生活を営む	1．情報の収集・比較と意思決定 2．購入・支払いのルールと方法 3．消費者の権利と責任 4．生涯の経済生活を見通す 5．これからの経済生活	ａ：消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性、消費者保護の仕組み、消費生活の現状と課題について理解している。 ｂ：責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート	ワークシート 学習ノート

※令和４年度以降入学生用

	持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して	ａ：生活と環境との関わり、持続可能な消費、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 ｂ：持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習ノート	ワークシート 学習ノート
	これからの生活を創造する	生活をデザインする	ａ：自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ｂ：生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ｃ：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	ワークシート	ワークシート 学習ノート	ワークシート 学習ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度